



TITLE:

多体問題研究会(第一回)の報告

AUTHOR(S):

CITATION:

多体問題研究会(第一回)の報告. 物性研究 1966, 7(2): A1-A3

ISSUE DATE:

1966-11-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/85958>

RIGHT:

多体問題研究会（第一回）の報告

宗 田 敏 雄

9月13日から15日迄の3日間、東京都八王子市、野猿峠にある富士山と丹沢山魂を一望に見渡せる丘の上に点在して建てられた大学セミナー・ハウスで開かれた。参加者は、招待者・応募者を含めて約48名である。尚今回は、応募された方は、全て資格を有する方なので、全員に来て頂いた。

プログラムは大体以下に述べる様で、その様に会合は進化した。

9月12日夜 例 主催の事務係と地方の方が集合した。

9月13日 例 第一日

10:00~12:00 久保亮五「最近の統計力学の話題」（招待講義）

（座長 森肇）

14:00~14:30 同上に対する質問

14:00~18:00 個別発表（座長、岩本文明）

伊豆山健 二次相転移の一般論 （75分）

田中友安 Non Linear Response (40分)

守田 徹 Generalized Boltzman Equation (70分)

松平 昇 Spin 系の問題 (model) (25分)

19:15~21:30 若手発表と会議報告（座長、鈴木増雄）

小川 泰 s-d 相互作用の bound State (75分)

碓井恒丸 中国の学会の印象 (60分)

9月14日 例 第二日

9:30~11:30 沢田克郎「ボーズとフェルミ粒子に於ける変分原理」（招待講義）（座長 碓井恒丸）

11:30~14:45 （若い人の group+ 松原武生氏）→多摩動物園へ遠足

他の若い人の group 平城跡へハイキング

宗田敏雄

14.45~15.00 招待講義に対する質問

15.00~18.00 個別発表(ヘリウム) (座長 阿部龍蔵)

植田精三 He II 中のイオンの運動 (40分)

三沢節夫 He^3 は Fermi 流体に従うか? (30分)

沢田克郎 He^3 の Sum rule (15分)

岩本文明 固体ヘリウム (30分)

西山敏之 Bose 気体中の粒子のフォノンによる散乱 (45分)

19.30~21.45 若手発表と会議報告 (座長・小川泰)

桜井明夫 金属強磁性に於ける spin 波 (45分)

石川幸志 anharmonic Oscillator の対角化 (20分)

芳田 奎 ソ連のモスクワ会議の報告 (45分)

都築俊夫 ソ連の学会・大学の内情 (20分)

9月15日出 第3日

10.00~12.00 松原武生 Wave Propagation in Random media

(招待講義) (座長 芳田 奎)

13.30~16.30 個別発表 (座長 伊豆山健夫)

志水正男 プラズマ振動 (30分)

恒藤敏彦 Time dependent Superconductivity (30分)

桂 重俊 一次元の Heisenberg model (45分)

岩本文明 BCS の粒子数保存について (20分)

守田 徹 Green 函数の一般解 (45分)

会議は極めて盛会で最初一日しか来ないと云われた久保亮五氏は、多忙にもかかわらず3日皆勤でしたし、松原武生氏は東海道線が豪雨の為30時間の立往生にもめげず第一日目の夜11時頃セミナーハウスに着かれ、翌朝早くから会議に参加し、若い人に混って遠足に行かれる程の元気の良さでしたし、学会には、余り出席されない沢田克郎氏も三日間皆勤でした。その他二日間出席と云われた方も、3日出る等、皆に有益な会でした。それは一に招待講義の良さに

多体問題研究会（第一回）の報告

あり、二に参加者の学問を高い水準に置きたいと云う学問への愛好心であり、三に参加者各位の協力の精神でありました。次回を是非違った形式でやりたいという希望の方が多数いた様に見受けられました。と云うのは、個別発表に対する discussion の時間がやや少なかつた事と、夜の部が相当に強行軍で、参加者につらい様でした。

以下に掲載するのは、

- 1 招待講義の講義ノート
- 2 各個別発表と夜の部の座長のその session に於ける話の要約もしくは、印象記です。